

京都文教短大 ○中村博幸 秋尾保子 目白学園女子短大 矢内秋生 池田勝枝

【目的】筆者らは、大学生としての意識、大学生としての知識、基本的学習スキルを学習させるための研究をガイダンス教育と呼び研究を行ってきた。その中で、モデル的なカリキュラムをもとに4年大、短大などの校種や専攻の特色を考慮して具体的カリキュラムを作成することを提案している。そこで、本報告では家政系短大における基礎教育のカリキュラムの提案を行う。

【方法】生活科学の体系を学ぶためと、学習のための基本的なスキルを学ぶための柱を中心に、専門科目や関連科目を、資格科目などを配置する。また基礎教育は、内容的に実験系と演習系に分け、時系列的にスキルの訓練(入口)と卒業研究(出口)とに分けられる。

・実験系 基礎実験--技術的スキル ----- I 回生      ・演習系 基礎演習--概念的スキル -- I 回生  
卒業実験--応用実験(テーマ別) -- II 回生      卒業演習--卒業研究 ----- II 回生

【結果】実験系の基礎教育については、基礎・応用とも各専門科目内で分散して実験されていることが多い。そこで、特に演習系の入口の基礎演習の枠組みについての提案を行なう。

#### 基礎演習の内容

- ・卒業研究の準備(基本的学習態度・スキルの養成)      ・科学的批判ができる視点の育成
- ・情報活用力の養成

#### 基礎演習の内容

- ・概念的スキル(仮説設定、情報解釈、問題解決実行力)      ・生活科学的に特色づけしたスキル(文献調査、アンケート調査、レポート表現、プレゼンテーション力)
- ・一般的スキル(ゼミ討論の方法、アイデアをまとめる)

いくつかの短大で上記の視点で施行を行った結果、学習意欲の向上、学習能力の向上などの成果が得られた。これをもとに、卒業演習の枠組みの研究に進めて行きたい。